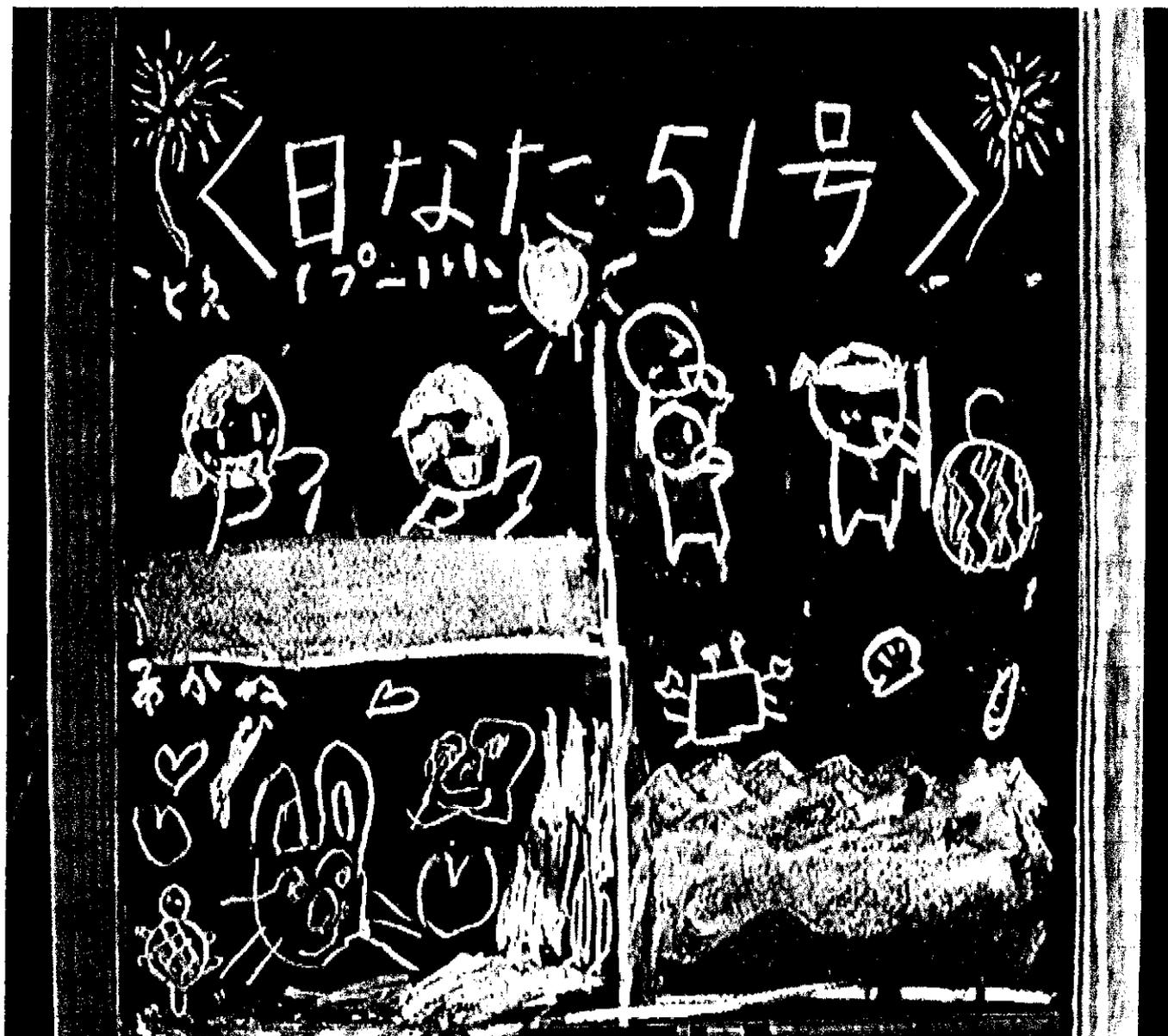


寺報

龍正寺



〈平成24年 8月〉

宝龍会
護持会

〈経職だより〉

日蓮宗新聞社発行の「正法」私の信仰体験に当山筆頭総代、護持会会長御夫婦の信仰体験記事が載りました。一人でも多く皆様にご覧いただきたく日蓮宗新聞社正法出版社に許可を得て寺報「日蓮」ホームページに記載しました。

お盆号「正法の特集」

「再生のカーン難・苦難に克つ力」

の如く前向きな修行、苦悩で大変な日々を送るに今は慶びをもって家族一願となり修行の日に励まれておられます。今、迷い、不安、苦難等にぶつかり乗り越えようとしている方々には是非読んで頂きたいと思っております。

「蓮大聖人御遺文 富木尼御前」の一説

〈やのはしる事は弓のちからくものゆくこと
ほりうのちから、をとこのしわざは女の
ちからなり〉

夫は漕ぎて、妻は舵取り、夫婦和合
相愛相敬しお互いに理解感謝し
あうことによつて家庭円満になり得る

御夫婦の信仰体験はまさにこの言葉があ
てはまるのではないかと思います。

多くの方々に信仰をもつて家庭円満な日々
を過していただきたく祈るしだいです
これからますます暑くなります、どうか皆様
お体を御自愛なされて永分補給など
忘れずにお取り下さい。

合 掌

私の信仰体験

I

お題目と縁を結んで

四百年続く他宗の信仰
縁あって、法華信仰へ
今は総代として寺報も

岐阜市 龍正寺信徒
服部 安芳 さん(54)
昌世 さん(49)

●文・写真

岐阜県 傍島 智秀 通信員
田中 裕史 通信員

◆歴史に名高い城下町

織田信長・斎藤道三らが、かつて天下統一を夢見、その拠点とした事で知られる岐阜城・金華山。

そこから南へ十分くらい車を走らせると、岐阜市街に行き着く。歴史豊かな街中にある、小さなお寺、岐阜市宝雲山龍正寺(佐口恵亮住職)。

佐口住職の教化で、家の宗旨は異なるが、お題目と縁を結んだご夫婦がいる。

服部安芳さん(54)と妻、昌世さん(49)ご夫妻である。

◆葉をもすがる思いで

今から二十五年前のこと。服部さ

んご夫妻は、悩みを抱えていた。長男の泰教さんが、四歳の時に情緒不安定が続ぎ、考えられない意外な言動や奇行が度重なり困惑していたのであった。このまま放っておくと、もつと酷くなっていくのではないかと悩まされていた。

そんな矢先に、ご主人の安芳さんの友人が、「私の知り合いの日蓮宗のお坊さんに相談してみると良いよ」と紹介されたのが、龍正寺の佐口住職であった。

しかし奥さんの昌世さんは、一抹の不安があった。一つの不安は、宗旨が日蓮宗ではなかったこと。

「服部家の宗旨は、先祖代々四百年も続く真宗大谷派なので、龍正寺に行つていいものかとずいぶん迷いましたが、葉をもすがる気持ちで龍



ピンチを救ってくれた佐口恵亮住職(中央)と服部安芳さん(左)昌世さん(右)ご夫妻

正寺に参りました」

◆お寺に日参 修行開始

佐口住職に相談したところ、「先祖の供養がなされていないから」と教化され、龍正寺に日参することになった。さっそく、お題目修行が始まった。

すると、息子泰教さんの様子も日ごとに変わり、不可解な言動や奇行もなくなっていった。

やがて、服部さん家族と龍正寺の関わりや絆も強くなり、確かなものとなっていった。

◆新たな不安

しかし、龍正寺と少しずつ絆が堅

くなるにつれ、新たな不安も増してきた。

それは服部家の宗旨が真宗大谷派であったため、ご主人の両親に何と説明して龍正寺に参拝に行くか、との悩みだった。龍正寺の年中行事や回参等の参加は、ご主人の両親には、なかなか話せなかったと述懐する。昌世さんの気苦労と遠慮があった事が伺える。

◆臨終のお題目

しかし、次第にご主人の両親も暗黙の了解と心得て、龍正寺にお参りしている事実を了承していたようだ。

ご主人の父親が他界された時のこと。お姑さんから、うれしい話が切

り出されたのだ。

「毎月の回向は日蓮宗のお経で供養してもらいたい」と。

葬儀は親戚や近所との繋がりがあつたため、服部家の宗旨で行ったが、お題目での月回向を望まれたのであつた。家庭の相談事も、「日蓮宗の事はようわからんが佐口上人に、聞いてもらえば良い」と言われるまじになった。

龍正寺との絆がさらに深まりその後、お姑さんは他界する時も、お念仏ではなくお題目を唱えて、苦しまず臨終を迎えたそうだ。

◆未信徒教化の心意気

今、昌世さんは、龍正寺護持会会長として、自分が法華経によって戴

いた幸せを少しでも多くの人々に届けたいと祈りに力をこめる。

とりわけ自分と同じ立場であつた「未信徒の人々に伝えていきたい」と願っている。

白らが発起人となり、龍正寺のスローガン「みんなで一つのことを」を胸にみんなで作ってきた寺報「日なた」も四十七号を迎えた。昌世さんを温かく見守り一緒に歩む夫・安芳

さんは、今では筆頭総代。

今では総代としてお寺を盛りあげようと奮闘する妻に比べたらお寺に行きだしたのも遅く、お経も充分に読めません。総代になってからも目が浅く、失敗ばかりですが、こんな私でも法華経を信仰していけるのだとみなさんの良い見本になればと思っています。

料理人と言えば、賄い作りのような者、一番下で皆様を支えていきたくと心意気は十分。

「妻と共に法華経信仰の道歩んで参りたい。いや、みなさまに付いていきたい」

と謙虚な姿勢で信仰を保っている。

夫婦仲良く連れ添って信行するご

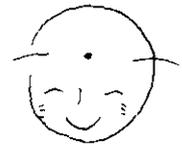
夫妻の願いは、必ず叶うことだろう。



未信徒の立場から、一転現在、龍正寺筆頭総代お題目は必ず教ってくださるも教のアイデアを日々練っている



親 = 見守る姿



不安な時や何か悪い行動を起そうとする時、誰でも一瞬、かならず立ち歩いたり、振り返ったりする時があると思います。その時、誰か見守ったり、受け止めたりしてくれる人が要るかどうかで人生もかわってくるのではないでしょう。それは仏様や先祖様も入ると思っています。

私が龍正寺をお参りする都度に感心する事ですが、小さな子ども達が信徒さんに混って静かに、又大きな声でお参りする姿です。一言で「お利口さんやねえ」と云えばすむ事ですが、お利口さんとはなく、龍正寺での親の姿を見て育っているからだと思います。1歳にも満たない子どもの玩具代わりに太鼓をたたいていても回りが温かく見守り、受け入れています。私はこの姿がとても大切な事だと思っています。

桜の花は きれいな花を咲かせようと冬の寒さの中で蕾の内に準備をします。この準備期間が過ぎてきれいな花が咲きます。人は満開に咲き誇った桜を見て「きれい」と歡喜しますが蕾を歡喜する人はいませんよね。でもこの蕾の期間が過ぎてこそきれいな花になるのは…… ♪ ♪

この蕾の期間が大切で、それが龍正寺に来る子ども達の
姿だと思います。小さな蕾を親が周りの人が 温かく見守る
事で、仏のお教えが自然に身についているのではないで(ようか
子ども達が大人になる時には、きっと満開の桜のごとく
信仰の心や、教え、感謝の心を全開に咲かせたいと思います。
私達、大人ももう一度、親として子どもの姿を通して、襟を
正す事が大切かも知れませんね。♡

♡
♡
言葉はこころ

1つの言葉で

けんかして

1つの言葉で

神直り

1つの言葉で

涙を流し

1つの言葉で

笑い合う

1つの言葉で

頭が下がり

1つの言葉で

いびき合う

1つの言葉はそれなりに 1つの心を持っている。

☆私の大好きな詞です☆

 人も自分も大切に 

梅雨明けし暑い日が続いていますね。

熱中症にならないように気をつけましょうね 

長い夏休みも始まり、一番下の娘は毎日ラジオ体操から始まり学校のプールにと日に日に真、黒になっています。

最近ではラジオ体操もない所もあると聞いて昔ながらの生活を改めて有り難いなあと感じています。

遊んでいる場所も神社やお寺と、小さい子から大きい子までと一緒に遊んでいるのを見ていると、自分の子供の頃が懐かしいなあといじり合います。

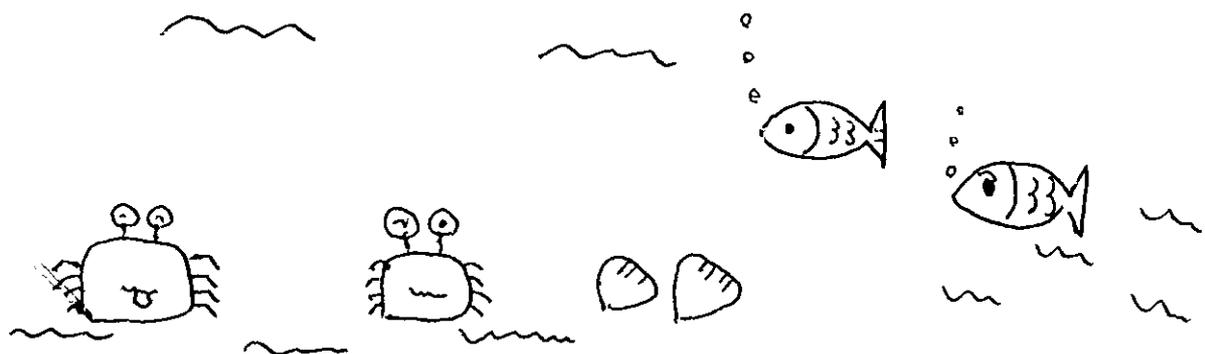
毎日のようにけんかあり、もめ事ありのようですが...

確実にたくましくなっています。

このまま譲り合う気持ちや色々な事を学びながら成長していき、くれるといいなあともみんなで見守っていきたいですね。

大津市でいじめ自殺、校長先生が自殺したなど悲しい出来事が増えている中で、人を大事に自分自身も大事にしてほしいです。

よその子も自分の子もみんなの大切な存在です。私達親も、色々な事を学ばせてもらえる事、子育てさせてもらえる事に感謝しながら無事に夏休みを過ごし、新学期を迎えたいですね。〇〇



♪♪

♪♪

なつかしの歌のおかげで

♪♪

♪

この頃 なつかしい歌を歌う機会が多くなりました。

それは 仕事の訪問介護で利用者さんと一緒に歌うからです。

「訪問先で何故歌も？」と思いませんか？ 私自身も初めて一緒に歌を歌って下さい。と言われた時はビックリしました。独居の方は会話をする機会が少ない為、食前に歌をうたう事で唾液の分泌を良くし、燕下、消化力などを良くする口腔体操の一つとして行います。

一緒に歌う事で気分も明るく、楽しくなり、食事もおいしく頂けるのでは…との思いもあります。

選曲は利用者さんに決めてもらいます。「ともしび」、「あさみの歌」、「青葉の笛」、「琵琶湖周湯月就航の歌」など 初めは題名を聞いてもさっぱりわかりませんでした。歌詞カードを見せてもらうと、あから不思議、なんとなく、リズム、曲が出てきます。

利用者さんの声に合わせて歌いはじると、「うたえる！この歌知ってますよ」叫びそうになりました。

「でも!? 何故…この歌を知っているのかしら？」と、とても不思議でした。

利用者さんは「こんな古い歌をよく知っているね！」

「なかなか誰も歌えまいのよ。ありがとうね」と言われました。

喜んでもらえて、「こぶこそ アリカトウ ごさいます、こ=こ、とする
事が出来ました。

でも... 何故? 知っていたのかな? 自分の中でおもいつく心あたりがありませんでした。しかし曲を聞き、歌詞カードを読めば歌えるのです。うーん、うーんと考えてふっと思い出したのが「母」です。小さい頃に台所で料理をしたり、洗濯物を干したりしている時、鼻歌まじりの歌をよく耳にしたような気がします。小学生の頃に母にオルガンを弾ってもらった事も思い出しました。決して上手ではありませんでしたか...

私と母は物事の考え方、感じ方がかみ合わない部分が多くあります。その上、私は父親が大好きだったので、両親がケンカするたびに母を遠ざけるようになっていました。

そのせいか、今も少し距離を置いて付き合っています。

しかし、今の仕事を通じて色々な人生を重ねて来た高齢者の人々と関わり合う中で、人生を学ぶ事がたくさんあり

ます。その方々の人生を少しでも理解してサービスの提供
をする仕事でもあります。

自分の好き嫌い、意見、考え方の違いなどは私の勝手な思
いでしかありません。今回の事で一つ学びました。

「歌」を通じて、知らないうちに私の記憶のお〜と中で
母娘が繋がりができていました。母からしっかり伝えて
貰っている物があるのだな〜と痛感しました。

母は子供の頃、バイオリンを習っていた時期があるそうです。
タイプライター・スウェーデン刺繍なども好きで行っていたと
言います。当時としては、余裕のある生活を営んだ家庭
で育ったようです。

その母の今の生活を考えると…。人生とは思うようには
なかなか行かないものです。そう思うと母も色々な人生を
歩んで来たんですよね。「母」に感謝です。おかげ様で
仕事に役立っています。

最近では家庭の中で母親が子供に歌を歌う機会は
少なくなりましたね。まさに私の歌は「門前の小僧習わ
ぬ経を詠む」です。母の間違って歌っていた歌詞はそのまま

覚えていました。でも、私はその間違いを含めて、それも良しかなと思うのです。何故なら、親・子の中で知らず知らずに身につく事、記憶に残る事、大切な事からです。

私は長～い歳月を経て、“なつかしい歌”がきっかけになり、少し母との距離が近くなった気がします。

今月は八月盆です。親から子供達へ知らず知らずに伝わっている事ありますか？

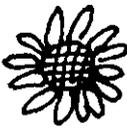
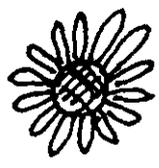
ふっと気がつくとき親と同じ事をしている事、ありませんか？ それか家族のつながりだったりしませんか。

いくつものつながりが、先祖代々の幸せとつながるのではないかと思います。

御先祖様に感謝し供養しましょう。

親にありがとうと言える生き方をしたいと思います。

それが、御先祖様への供養にもなると思うのです。

。  継続から習慣に ...  。

今年も暑い夏がやって来ました。熱中症には十分注意が必要な時期ですね。

子供達も楽しい夏休みが始まりました。家族でお友達同士で素敵な思い出作りが出来るといいですね(笑)

最近私自身とても思う事があります。『継続は力なり』

ということわざがあるように毎日の生活の中での日々

の積み重ねは本当に大切ですね。継続する事が出来

て結果に繋がっていくんだという事を日々の生活の中で感

じています。毎日の生活の中で学ぶ事は本当に多いかも

しれません。

結果が出る迄にはそれぞれ個人差はあるかもしれませんが

私自身焦っている頃はいつも最後の

結果はかきを求めて自分では努力をしていたつもり

でも何か大切な事がいつも抜けていた様に思います。

毎日の生活の中で自然に手を合わせる事を学んで「習慣」
になっていった事が「やはり幸せで有難い事なんだな」と思っ
て思います。

型にはめて考えては「か」いた頃は 何をする時も
苦しかった様に思います。

結果は「後から付いてくるもの」(心)。自分で決める事
ではありませんね (心)

継続が「自然に習慣になっていく事」一番いいの
がもしありません。

今私自身習慣になっている事は 毎日我が家の仏
様に手を合わせる事と 家の土地を清める事です!!
不思議な程に型にはまらなくなりました。

やらなきゃ... こうしなくては... なんて型にはめていた頃
の方が「毎日窮屈で本当に嫌でした」。型にはまらなくな
りの方が「とても守られているな」と感じています。何事も自
然体でいられる事が「きっとたぐの事を感ぜられるかもし
ありませんね。そして感謝する気持ちも生まれるんだ」と思
いました。(心)

笑顔のコーチング... 😊

7万7千人... 1年間で文部科学省に届けられたいじめの件数がそうです。でもこれは氷山の一角に過ぎません。大津の中学生が自殺した問題がマスコミに取り上げられてから、いじめのニュースが後をたぎりませんね... 本当にいたたまれない気持ちで一杯です。親は学校の対応に不満をもらしつつも、「どうして気が付いてあげられなかったんだろう」と自分を責めていました。親として出来る事... 子供からのほんの小さなサインに気が付かせてもらえる親でありたいです。それには自分の心には余裕があることが大切ではないかと思います。

頑張りすぎて周りが見えなくなってしまう。バタバタして空回りしてしまう。私も思い当たる事は沢山あります。結果、子供に向き合えなくなってしまう時があります。忙しくても子供と向き合い話を聞いてあげる、子供が話しやすい環境を作ってあげる事も大切ですね。

先日、主人から「笑顔のコーチング」というDVDを見せてもらいました。心に余裕を持たせるには、まず「笑顔でいる事だ」と話されていました。奉仕の「行い」の一つに「和顔施」という布施行があります。笑顔は周りを幸せな気分にならせてくれますね。子供が「見せてくれる笑顔に、私もどけだけ幸せをもらって、事でしようか。

夏休みも始まり、毎日暑くて心身共にクタクタになる時もありますが、皆さん笑顔で頑張りますよ!!
そして、子供達にとって充実した楽しい夏休みとなりますように… ☺

＜ 8月寺院行事内容 ＞

- 8月13日(月) 午前10時より 宗祖日蓮大聖人報恩会
鬼子母尊神 七面大明神) 祈禱会
- 8月18日(土) 身延波木井山へ出張のため法要を休みます
- 8月27日(月) 午前10時より 松葉谷法難会
大古久尊天祈願会

＜ 住職行事内容 ＞

- 8月13日(月)
? 相月経
- 8月15日(水)
- 8月16日(木)
? 身延山波木井山へ出張
- 8月19日(日)

＜ 8月の予定 ＞

- 8月6日(月) 各々の時間で 清掃準備活動
? " (お供物準備)
- 8月12日(日) " (お供物準備)
- 8月20日(月) 各々の時間で 清掃準備活動
?
- 8月26日(日) " (お供物準備)